

航 空 自 衛 隊 仕 様 書			
仕様書の 種 類	内容による分類	装 備 品 等 仕 様 書	
	性質による分類	個 別 仕 様 書	
物品番号		仕 様 書 番 号	
品 名 又は 件 名	救助衣, 改	C & L P S - D 8 4 4 3 1 - 5	
		大臣承認	平成 年 月 日
		作成	平成13年 6月26日
		改正	平成22年 7月23日
			平成24年 6月29日
作成部隊等名	補 給 本 部		

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、消防隊員が救難消防活動時に身体を火傷から防護するために着用する救助衣, 改について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる主な用語及び定義は、C & L P S - Y 0 0 0 0 7 の1.2 による。

1.3 種類・構成

種類及び構成は、表1によるものとし、調達する種類は調達要領指定書で指定する。

表1—種類・構成

種 類	物品番号		
	救助衣, 改	構 成	
		上 衣	ズボン
1号	8415-426-7377-5	———	———
2号	8415-426-7378-5	———	———
3号	8415-426-7379-5	———	———
4号	8415-426-7380-5	———	———
5号	8415-426-7381-5	———	———
6号	8415-426-7382-5	———	———
7号	8415-426-7383-5	———	———
SS	———	———	———

注記 SSは、特別サイズを示す。

1.4 製品の呼び方

製品の呼び方は、名称及び種類による。

例1 救助衣, 改, 1号

例2 救助衣, 改, 上衣1号

例3 救助衣, 改, ズボン2号

品名	救助衣, 改
----	--------

1.5 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a) 規格

JIS H 5301	亜鉛合金ダイカスト
JIS L 0217	繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法
JIS L 0842	紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法
JIS L 0844	洗濯に対する染色堅ろう度試験方法
JIS L 0848	汗に対する染色堅ろう度試験方法
JIS L 0849	摩擦に対する染色堅ろう度試験方法
JIS L 1030-1	繊維製品の混用率試験方法—第1部：繊維鑑別
JIS L 1030-2	繊維製品の混用率試験方法—第2部：繊維混用率
JIS L 1091	繊維製品の燃焼性試験方法
JIS L 1094	織物及び編物の帯電性試験方法
JIS L 1096	織物及び編物の生地試験方法
JIS S 3015	スライドファスナー
JIS T 8118	静電気帯電防止作業服
NDS Z 0001	包装の総則
NDS Z 8011	角形銘板

b) 仕様書

C&LPS-Y0007	調達品等一般共通仕様書
-------------	-------------

2 製品に関する要求

2.1 材料

材料は、表2による。

表2—材料

区分	規定
表生地	付表1による。
芯地	付表2による。
スライドファスナ(上衣用)	付表3による。
スライドファスナ(ズボン用)	付表4による。
布ファスナ	ナイロン100%、幅25mm及び50mm、表地と同系色とする。
押しボタン	ポリアセタール樹脂製、直径15mm、表地と同系色とする。
インサイドベルト	ポリエステル100%、幅35mmとする。

品名	救助衣, 改
----	--------

表2-材料 (続き)

区分	規定
銘板	40番ブロード, 白, 裏面樹脂加工とする。
縫い糸	綿又はポリエステル40番, 表地と同系色とする。
バックル	ポリアセタール樹脂成型加工, 表地と同系色とする。

2.2 加工

2.2.1 型入れ・裁断

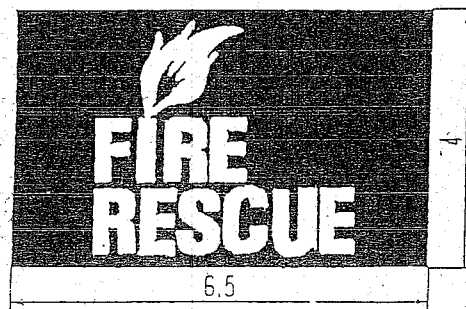
型入れ及び裁断は, 型紙どおりに布目を正しく合わせて行うものとし, 上衣の胸ポケット, ペン差しポケット, 雨ぶた, えり及びズボンのバンド通し, 天ぐ, 前立, 後ろポケット及び雨ぶたは, 身ごろに合わせるものとし, 斜目裁ちは行わないものとする。

2.2.2 縫製要領

縫製要領は, 次によるほか, 付表6及び付表7による。

- 糸調子はつれ, たるみ, 目とび及び縫い外れがないこと。
- 針数は3cm間で本縫いミシン及び二本針ミシンは12針以上, オーバーロックミシンは10針以上とする。
- 縫い始め及び縫い終わりは, はずれのないように返し縫いをする。
- かんぬき止めは, 機械かんぬきとする。
- ワッペンは, 図1に示すものを付図1に示す位置に縫い付けるものとする。

単位 cm



注記1 寸法は, 基準とする。

2 色相は, 地は紺, 文字はオレンジとする。

図1-ワッペン

2.2.3 仕上げ

糸くずを取り払うものとする。

品名	救助衣, 改
----	--------

2.3 形状・寸法

2.3.1 形状

形状は、次によるほか、付図2～5による。

- a) 上衣は長そで、カフス付きとし、ステン襟及び開き襟兼用とする。
- b) ズボンは長ズボン、すそはシングルとする。

2.3.2 寸法

寸法は、付表5を基準とするほか、付図2～5による。

2.4 機能

帯電電荷量は、JIS T 8118 箇条6に規定する方法で試験したとき、1点あたり 0.5×10^{-6} C以下でなければならない。

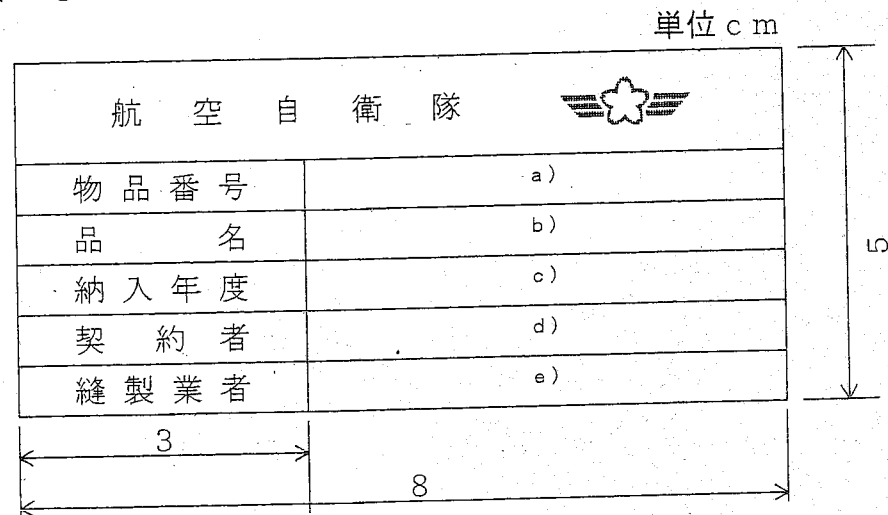
2.5 外観

仕上りは、傷及び汚れなど欠点が目立たないこと。

2.6 製品の表示

2.6.1 銘板・片布

銘板及び片布は、図2及び図3に示す様式のものを用いて、付図3及び付図5の示す位置に縫い付けるものとする。用字及び書体は、NDS Z 8011によるものとし、黒でにじみ及び退色しにくいものを用いて、鮮明に押印又は印刷する。



注記 寸法は、基準を示す。

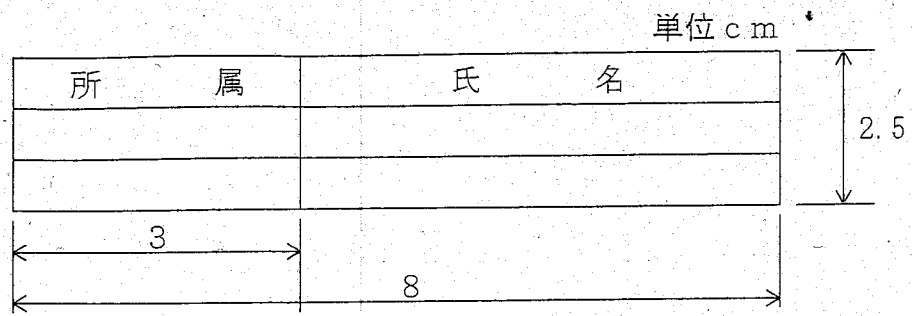
- 注 a) 該当する物品番号を記入する。
- b) 該当する品名（製品の呼び方）を記入する。
- c) 該当する納入年度を記入する。

例 2012年度

- d) 契約の相手方の名称又はその略号を記入する。
- e) 縫製業者の名称又はその略号を記入する。

図2-銘板

品名	救助衣, 改
----	--------

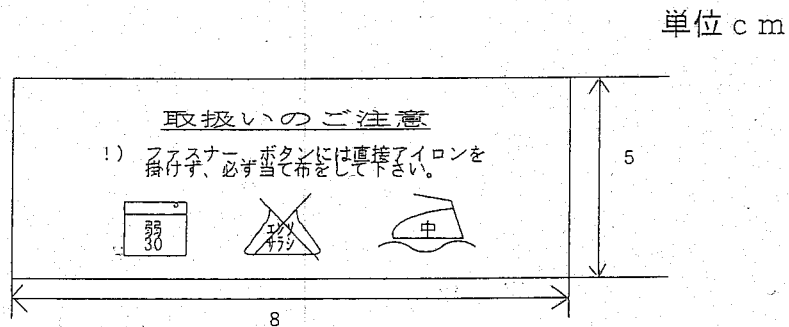


注記 寸法は、基準を示す。

図3 一片布

2.6.2 取扱表示

取扱表示は、JIS L 0217により図4に示す様式のものをつ図3に示す位置に縫い付けるものとする。



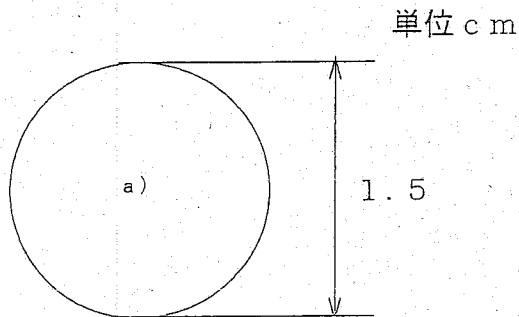
注記1 取扱いの注意, !), 必ず当て布及び×の文字並びに記号は、赤字で印刷する。

注記2 寸法は、基準を示す。

図4 取扱表示

2.6.3 種類印

種類印は、図5に示す様式のものをつ図2及び付図5に示す位置に押印する。



注記1 種類印の用字及び書体は、NDS Z 8011によるものとし、黒でにじみ及び退色しにくいものを用いて、鮮明に押印又は印刷するものとする。

注記2 寸法は、基準を示す。

注 a) 該当する種類を記入する。ただし、“号”は省略してもよい。

図5 種類印

品名	救助衣, 改
----	--------

3 監督・検査

契約担当官等の定める監督及び検査実施要領による。

4 出荷条件

4.1 包装

包装は、表3によるものとし、端数のある場合はこれに準じて行うものとする。

表3-包装

区分		包装材料	包装要領
個装		クラフト紙	同一種類の上衣1着及びズボン1本を1組として、5組をクラフト紙で包み、品名、種類及び数量を明記する。
外装	段ボール箱	複両面段ボール箱	個装した4袋を、複両面段ボール箱に収納する。
	包装用テープ	商慣習による。	包装用テープで上下面ともH形に封かんし、包装用バンドでこの字に掛け締め付ける。
	包装用バンド		

4.2 外装の表示

外装の表示は、NDS Z 0001の表示・標識による。ただし、表示内容は次のとおりとする。

- a) 調達要求番号
- b) 物品番号
- c) 品名（製品の呼び方）
- d) 数量
- e) 納入年月

例 2013年2月

- f) 契約の相手方の名称又はその略号

5 その他の指示

5.1 提出書類

契約の相手方は、C&LPS-Y00007の4.1.1に基づき類別原資料を提出する。

5.2 承認用見本

契約の相手方は、C&LPS-Y00007の4.3により、製品見本1着を契約担当官等に提出し、外観及び色について、承認を得なければならない。

付表1—表生地

区 分		規 定	試験方法
繊維混用率 %		芳香族ポリアミド (メタ型) 75±3 (パラ型) 5±2 難燃ポリエステル 20±3	JIS L 1030-1及び JIS L 1030-2による。
原糸番手	たて	36/2	JIS L 1096のA法による。
	よこ		
組 織		2/2あや織	
密 度 本/2. 54cm	たて	81以上	
	よこ	69以上	
生地幅 cm		150基準	
質 量 g/m ²		210以上	
引張強さ N	たて	1176以上	JIS L 1096のA法(ストリップ法)による。幅5cm, つかみ間 隔20cm, 引張速度20cm/分
	よこ	980以上	
寸法変化率 %	たて	-1.5以内	JIS L 1096のG法ライン 乾燥による。
	よこ	-1.5以内	
引裂強さ N	たて	44.1以上	JIS L 1096のD法による。
	よこ	34.3以上	
染 色		芳香族ポリアミド 原液染 (メタ型) (パラ型) 難燃ポリエステル 後染	
染 色 堅 牢 度	洗濯(変退色)	4級以上	JIS L 0844のA-2法に よる。
	摩擦(乾燥)		JIS L 0849のII法による。
	汗(変退色)		JIS L 0848のA法による。
	耐 光		JIS L 0842による。
燃 焼 性	炭化長 cm	10以下	JIS L 1091のA-4法に よる。
	残炎時間 秒	3以下	
	残じん時間 秒	3以下	
	ドリップ	な し	
限界酸素指数		29以上	JIS L 1091のE-2法に よる。
接炎穴あき時間		30以上	試料をピン枠に張って1200℃ の炎で接炎する。

付表1-表生地(続き)

区分	規定	試験方法
帯電摩擦電荷量 $\mu\text{c}/\text{m}^2$	7.0未満	JIS L 1094の摩擦帯電電荷測定法
色相	オリーブグリーン	—————
注記 上表生地のため方向に導電性繊維糸を等間隔に折込むこと。		

付表2-芯地

区分	規定	試験方法
繊維混用率 %	ポリエステル 100%	JIS L 1030-1及び JIS L 1030-2による。
原糸番手 dtex	たて 33 よこ	JIS L 1096のA法による。
密度 本/10 cm	たて 370以上 よこ 300以上	
組織	平織	
質量 g/m^2	30以上	
芯地幅 cm	112以上	—————
寸法変化率 %	たて -2.0以内 よこ -1.5以内	
加工	20ポイントランダムドット Wスポット2層コーティング	

付表3-スライドファスナ(上衣用)

区分	規定	試験方法	
種類	JIS S 3015の中量級 (開製品)	—————	
材質	ムシ(エレメント)	ポリアセタール樹脂, チェーン幅5.5~6.0m/m	
	スライダー	亜鉛合金ダイカスト	JIS H 5301による。
	テープ	ポリエステル100%	—————
	開金具	ポリアセタール樹脂	
	上止		
スライダーロック機構	オートマチック		
色相	表生地と同系色	—————	

付表4-スライドファスナ (ズボン用)

区 分		規 定	試験方法
種 類		J I S S 3 0 1 5 の軽量級 (止製品)	
材 質	ムシ(エレメント)	ナイロン, チェーン幅4.5 ~5.0m/m	
	スライダー	亜鉛合金ダイカスト	J I S H 5 3 0 1 による。
	テープ	ポリエステル100%	
	下止	アルミニウム合金	
	上止	真鍮	
スライダーロック機構	オートマチック		
色 相	表生地と同系色		

付表5 一寸法

単位 c m

種類	襟丈	上衣丈	肩幅	そで丈	胸回り	ズボン丈	股下	胴回り	もも回り	すそ口幅	ベルト
1号	46	86	50	65	120	114	84	92	80	24	110
2号	45	84	48	63	116	111	82	90	78	23	110
3号	44	82	47	61	114	107	80	88	76	23	110
4号	43	80	46	59	112	103	76	86	73	23	110
5号	42	78	45	57	110	101	74	84	72	22	100
6号	42	76	44	55	110	99	72	82	72	22	100
7号	41	74	43	54	108	97	70	80	71	22	100
SS	a)										

注 a) 調達要領指定書による。

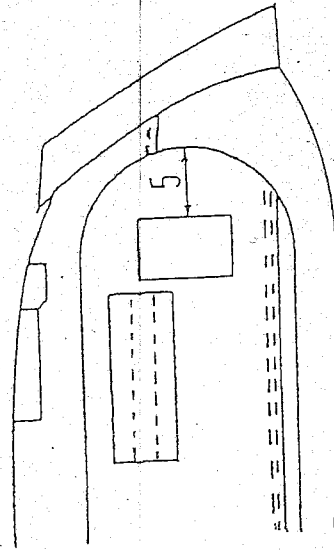
付表6-縫製細部要領(上衣用)

項 目	縫製細部要領
襟	表襟はしんを入れ、襟付け部を除き地縫いの上、折り返し周囲に0.5cm(基準)の飾り縫いをする。
胸ポケット	左右所定の位置に雨ぶた付きポケットを縫い付けるものとする。表雨ぶたにはしんを入れ上部を除き地縫いの上、折り返し周囲に0.5cm(基準)の飾り縫いをし、所定の位置に布ファスナを付けるものとする。 ポケット口は三つ折りし、所定の位置に布ファスナを付け幅3cm(基準)の押さえ縫いとする。 ポケットは端飾り縫いとし、口の左右端には、かんぬき止めをする。雨ぶた付けはポケットの上部所定の位置に地縫いの上、折り返して0.5cm(基準)の押さえ縫いをする。 雨ぶた端及びポケット口端にかかるように、裏に力布を付けるものとする。
前身ごろ	上前身ごろ、下前身ごろとも幅7.0cm(基準)以上の見返しとししんを入れ、奥はしんと共にオーバーロック縫いをし、ステッチで押さえ、前端より0.5cm(基準)の飾り縫いをする。 上前側は、見返し上部所定の位置に押しボタン2EAを付け、第二ボタン下より所定の位置にスライドファスナを二条押さえ縫いで付け、押さえ縫いの上下は、かんぬき止めをする。下前側は、前身ごろと見返しとの間にはさみ、飾り縫いする。ただし、ファスナ下部が見えるようにする。
ヨーク	表裏2枚使いとし、ヨークで後身ごろをはさみ、地縫いの上、表より0.5cm(基準)の飾り縫いをする。
腕章止めループ	腕章止めループは、幅0.6cm(基準)；長さ4.5cm(基準)とし、四つ折縫いしたものをヨークの位置に縫い付けるものとする。
そで付け及びわき縫い	そで付け及びわき縫いは、二本針縫いとする。
肩縫い	肩縫いは、二本針縫いとする。
そで縫い	二枚そでとし、二本縫いとする。
ペン差しポケット	左袖所定の位置に、ペン差しポケットを端飾り縫いで付けるものとする。
カフス	表カフスに芯を入れ、カフス付け部を除き地縫いの上、折り返し周囲に0.5cm(基準)の飾り縫いをし、所定の位置に布ファスナを付ける。また、袖開き部分には水かきを付ける。
すそ	すそは、0.7cm(基準)の三つ巻き縫いとする。

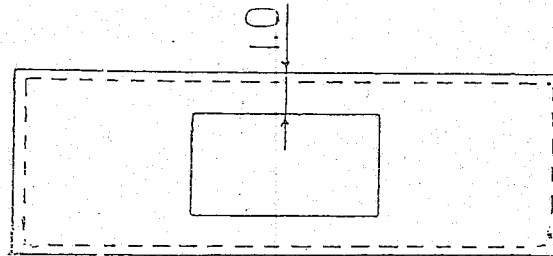
付表7-縫製細部要領 (ズボン用)

項目	縫製細部要領
わきポケット	左右わきに切替式斜めポケットをつけ、ポケット口にはしんを入れ、0.5cm (基準) の飾り縫いをする。 袋地は共地とし、地縫いして折り返し0.5cm (基準) のステッチを掛けて縫い付けるものとする。 ポケット口上下端には、かんぬき止めを入れるものとする。
後ろポケット	左右腰後部所定の位置に雨ぶた付きポケットを付けるものとする。 表雨ぶたにはしんを入れ上部を除き地縫いの上、折り返し周囲に0.5cm (基準) の飾り縫いをし、所定の位置に布ファスナを付けるものとする。 ポケット口は三つ折りし、所定の位置に布ファスナを付け幅3cm (基準) の押さえ縫いとする。 ポケットは端飾り縫いとし、口の左右端には、かんぬき止めをする。 雨ぶた付けはポケットの上部所定の位置に地縫いの上、折り返して0.5cm (基準) の押さえ縫いをする。 雨ぶた端及びポケット口端にかかるように、裏に力布を付けるものとする。
前タック	外向きの前タックを左右各1本とり、タック端の折り目線を所定の位置まで端飾り縫いをする。
腰ダーツ	左右の腰後部に腰ダーツを各1本とり、片倒し縫いとする。
天ぐ及びファスナ	天ぐにはしんを入れ、0.5cm (基準) の飾り縫いをする。 身ごろ端を折り返し、天ぐとの間にファスナをはさみ縫い付けるものとする。 身ごろ及び天ぐの裁ち目はオーバーロック縫いとし、天ぐ上部腰帯の所定の位置に布ファスナを付けるものとする。
前立及びファスナ	前立にはしんを入れ、裁ち目はしんと合わせてオーバーロック縫いをし、前立の飾り縫い幅は、4cm (基準) とする。 前立裏にファスナを二条縫いで付け、上部腰帯の所定の位置に布ファスナを付けるものとする。
小また	小また上部には、かんぬき止めを入れるものとする。
わき・尻及び内また縫い	わき縫い・尻縫い及び内また縫いは、二本針縫いとする。
棒シック	棒シックは共地とし、幅2cm (基準)、長さ12cm (基準) 以上とする。
腰帯	腰帯幅は3.5cm (基準) とし、インサイドベルトを入れ、周囲を端飾り縫いする。
バンド通し	バンド通しは四つ折り端飾り縫いをし、上端から1cm (基準) 下がりに1cm (基準) 浮かせて縫い付けるものとする。 前部左右に各1本、尻縫い部に1本、前部と尻縫い部の中間部左右に各1本の計5本を付け、下部の左右端はかんぬき止め入れるものとする。
すそ	すそは幅4cm (基準) の三つ折りとし、押さえ縫いをする。また、前面の折り目線をすそより所定の位置まで端飾り縫いする。

上衣左そで



ズボン右ポケット雨ぶた

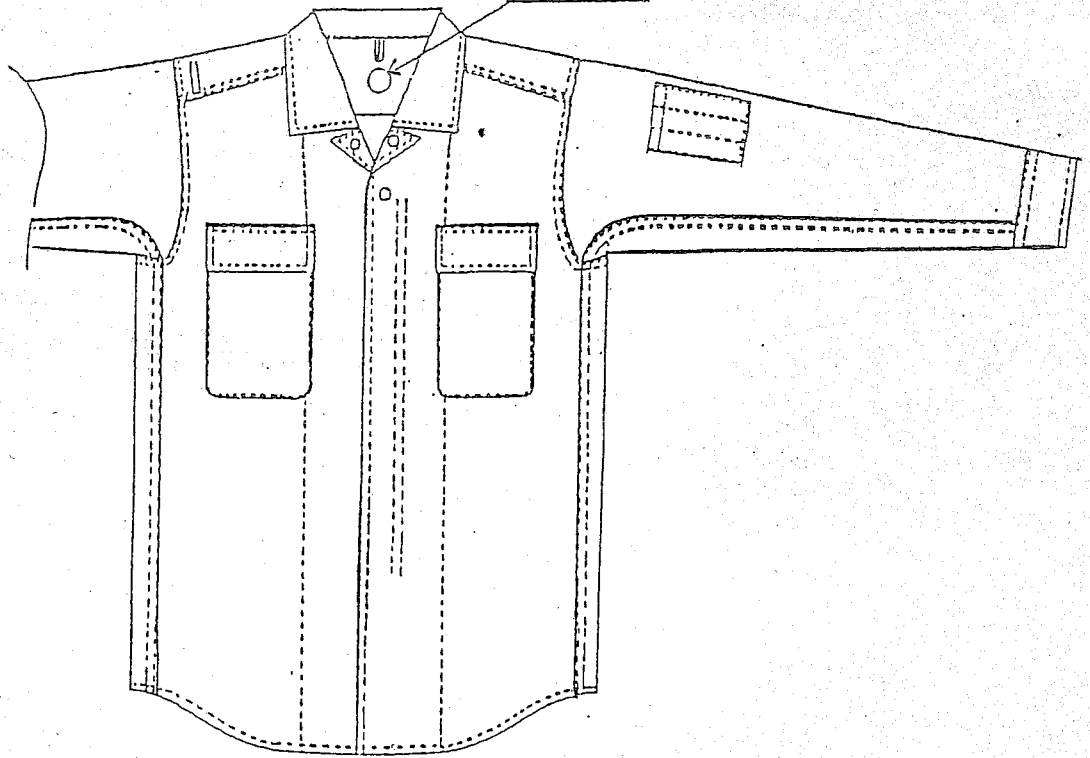


注記 図の形状及び寸法は、基準を示す。

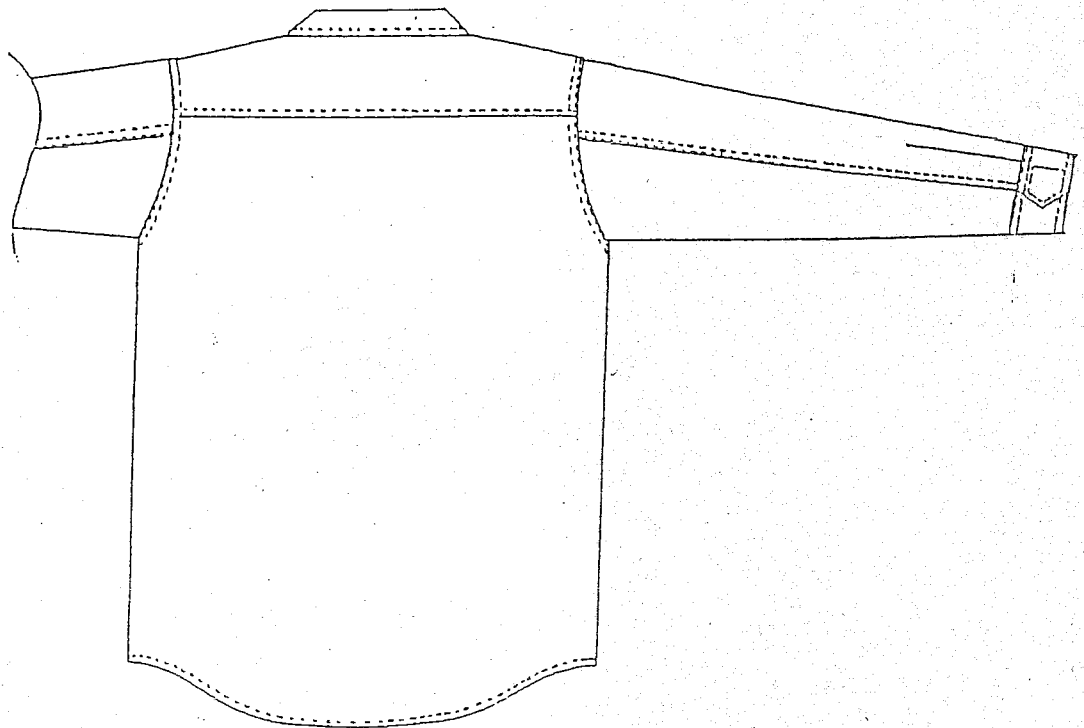
付図1ーワッペン縫付位置

前面図

種類印



後面図

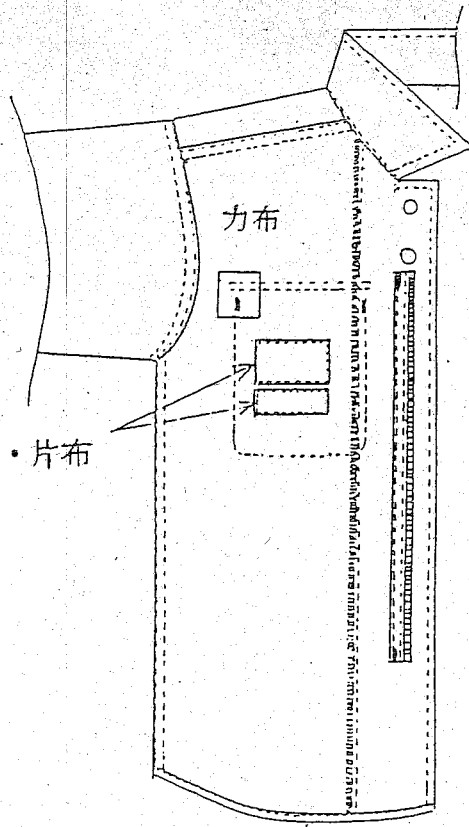


注記 図の形状は、基準を示す。

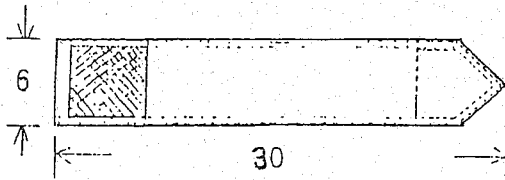
付図2-救助衣, 改, 上衣 (形状)

単位 cm

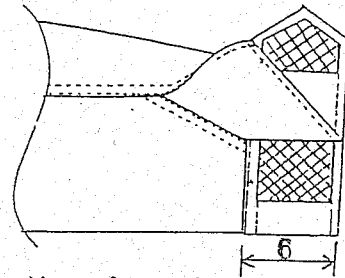
銘板・片布



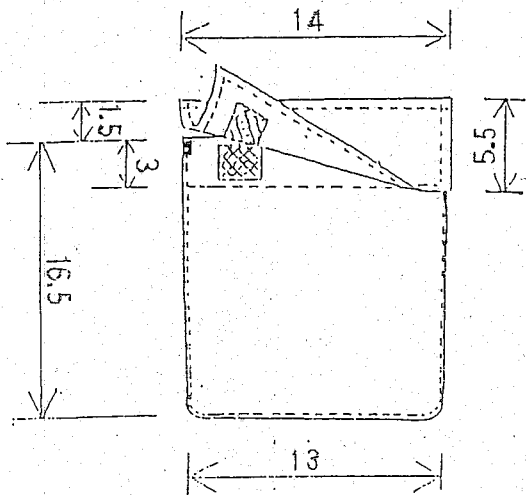
カブス



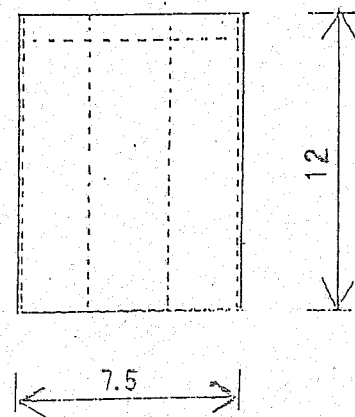
水かき



胸ポケット



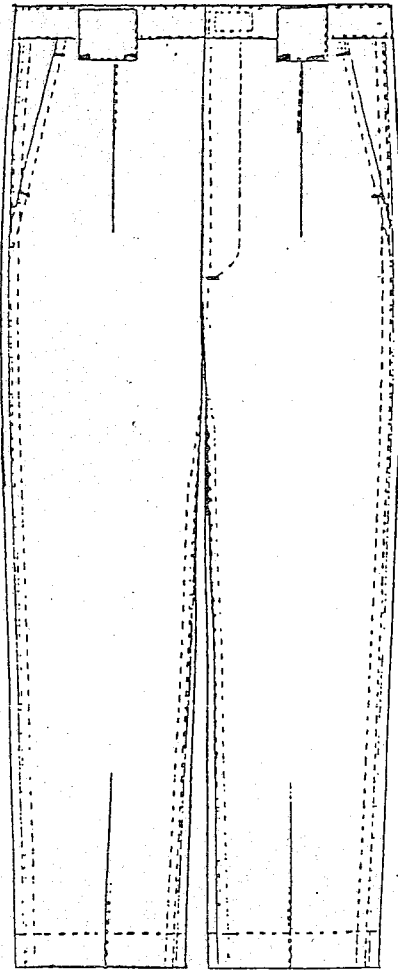
ペン差しポケット



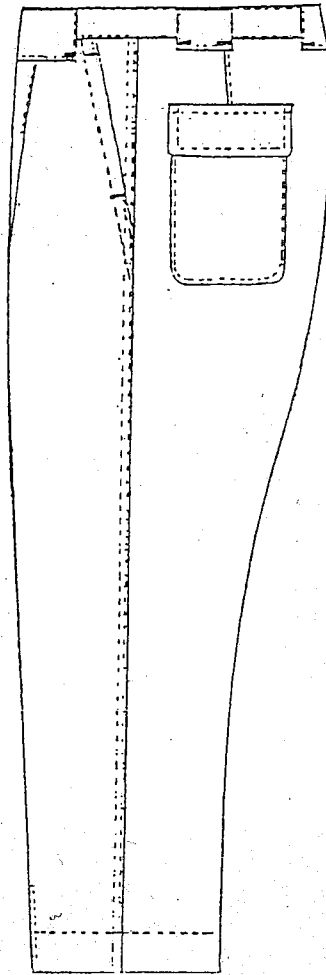
注記 図の形状及び寸法は、基準を示す。

付図3-救助衣, 改, 上衣 (寸法)

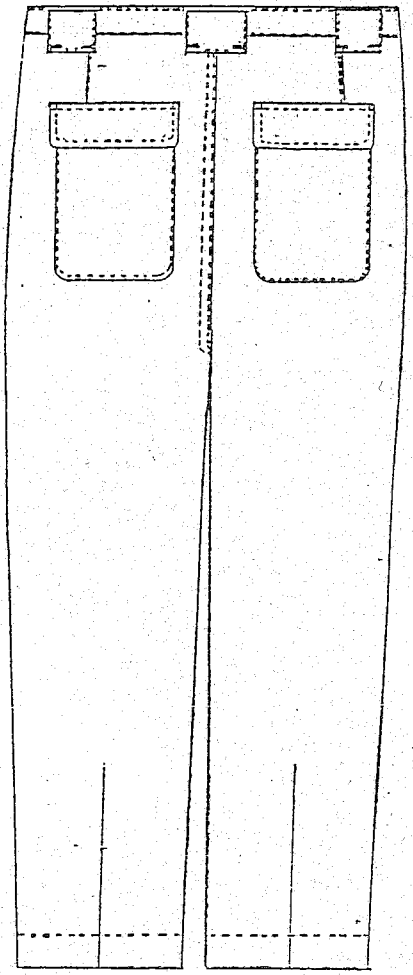
前面図



側面図

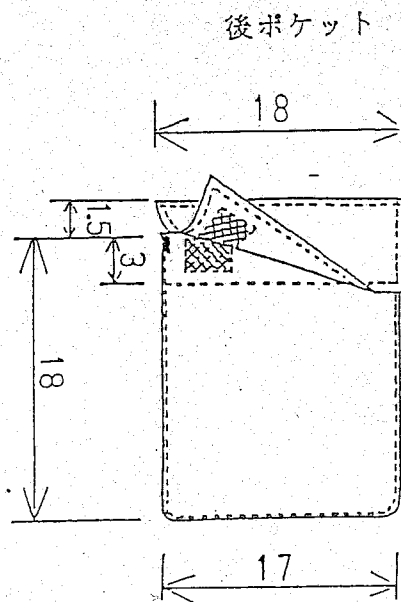
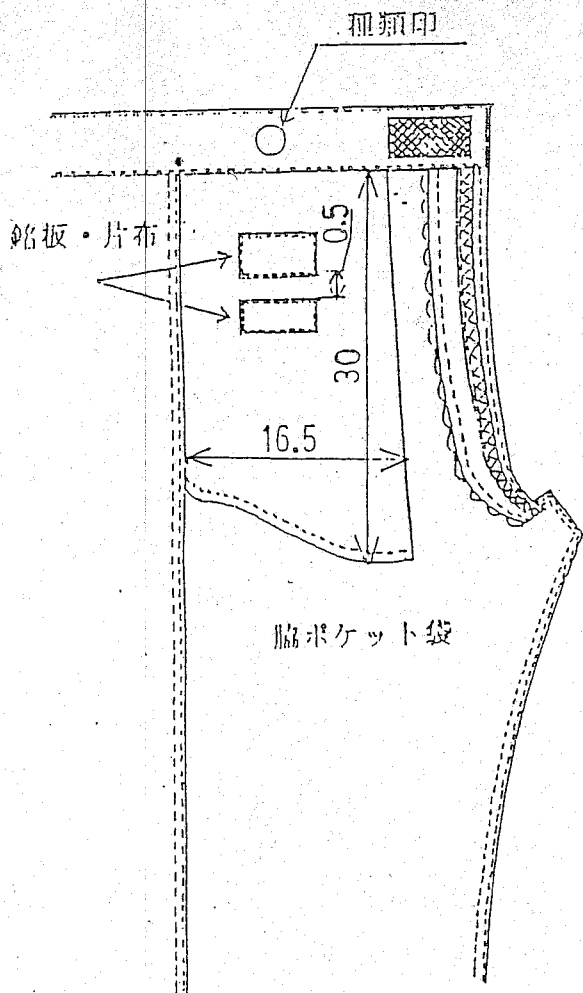


後面図



注記 図の形状は、基準を示す。

付図4－救助衣，改，ズボン（形状）

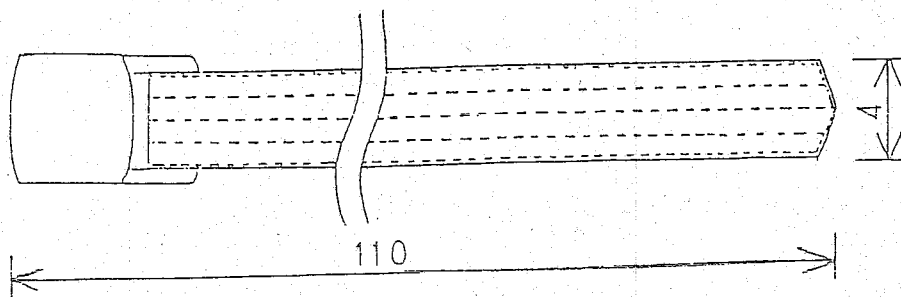
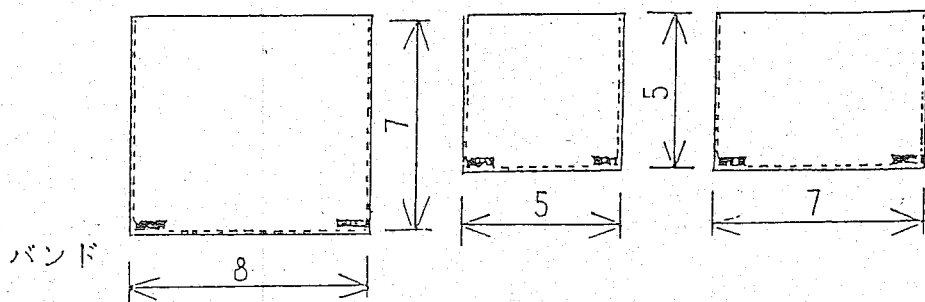


バンド通し

左右前面

左右脇

後中央



注記 図の形状及び寸法は、基準を示す。

付図5-救助衣, 改, ズボン (寸法)

